

| | | | | | |
|-------|----------|--------|--------------|------|----|
| 事業名 | 栄養指導事業費 | | | 調書番号 | 42 |
| 細事業名 | 調理師指導事業費 | 財務コード | 089403 | | |
| 担当部課室 | 福祉保健 部 | 健康増進 課 | 健康企画 担当 (内線) | 3505 | |

I 事業の概要

| | | |
|-------------------|--|---------------------|
| 実施期間 | 始期 S 35 年度 ~ 終期 年度 | |
| 実施主体 | 県(直営) | |
| 目的 | だれ(何)を対象に | その対象をどのような状態にして |
| | 調理業務従事者 | 資質の向上及び業務に対する意欲を高める |
| 結果、何に結びつけるのか | | |
| 食生活面から県民の健康づくりを推進 | | |
| 内容 | (1)調理師試験:調理師法第3条の2第1項に基づく調理師試験の実施 (2)調理師功労者の表彰(知事表彰):調理技術の発展を図るなどの功績があった者を表彰する (3)調理師業務従事者届出事業(隔年):調理師法第5条の2で規定されている就業地の都道府県への届出受理業務 (4)食の祭典やまなしにおける表彰(知事表彰)(隔年):県産食材を使用し、調理技術の向上を図るなどの功績があった者を表彰する | |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 区分 | 指標 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|--------------|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 活動指標 | ①調理師試験 1回 | 目標 | ①②③各1回 | ①②④各1回 | ①②③各1回 | ①②④各1回 | ①②③各1回 | ①②④各1回 |
| | ②調理師功労者表彰 1回 | 実績(見込) | ①②③各1回 | ①②④各1回 | ①②③各1回 | ①②④各1回 | ①②③各1回 | ①②④各1回 |
| | ③従事者届 1回(隔年) | 達成率 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | ④食の祭典やまなしにおける表彰 1回(隔年) | 達成区分 | b | b | b | b | b | b |
| 成果指標 | 目標 | | | | | | | |
| | 実績(見込) | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | |
| | 達成区分 | | | | | | | |
| 決算(予算) 単位:千円 | | 443 | 291 | 441 | 327 | 341 | 347 | 483 |

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

| | | | |
|------|---|----|--|
| 活動指標 | b | 評価 | 調理師免許を希望する全ての者に公平に受験機会を与え、合格者への免許交付や調理技術の優れた者を表彰することで調理師の資質向上及び意欲の向上に繋がっている。 |
| 成果指標 | b | | |

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補正する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

| | | | | |
|-----------|----|---|---|--|
| 県関与の必要性 | 判定 | <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い | <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる | <input type="checkbox"/> 必要性が低い |
| | 説明 | <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (表彰は県下一円で知事が免許交付した調理師を対象としており県が行うことが妥当) | | |
| 有効性(成果向上) | 判定 | <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 | <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない |
| | 説明 | 調理師試験により新たに調理師免許取得者が増えること、調理技術の優れた者を表彰することで、調理師全体の資質向上につながる。 | | |
| 見直しの余地 | 判定 | <input type="checkbox"/> 見直す余地がある | <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある | <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない |
| | 説明 | <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (試験は毎年、実施後にスタッフから意見を聴取し次年度に反映させている。従事者届事業は事務を委託して対応。食の祭典は調理師会) | | |
| その他 | 説明 | | | |
| 見直しの必要性 | 無 | 業務遂行にあたり試験業務は必要な見直しは実施しており、従事者届業務・食の祭典業務は隔年事業で、それぞれ調理師会と連携し実施しているものであるため。 | | |

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

| | |
|-------|----|
| 現行どおり | 説明 |
|-------|----|

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。